

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立大垣北高等学校		
実 施 期 間	平成26年10月29日(水)～11月6日(木)		
実 施 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・①授業公開(午後の授業公開4日間。午前2時間の授業公開1日間) ・②人権講話、芸術鑑賞の公開 ・③SGH高山フィールドワーク(1年)研修についての展示発表 ※上記期間外に、学校周辺清掃(各学年1回、6/12, 10/9, 12/11)を実施		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	83 人	計 83 人
	地 域 関 係 者	0 人	
実 施 状 況	<p>①10月29日(水)「ひびきあいの日」に人権講話として「地球のステージ1」を鑑賞した。今回はフィリピン、ソマリア、東ティモールやガザ地区での活動を音楽・映像も用いながら語っていただいた。桑山氏は宮城県在住であり、東日本大震災後の復興を伝える自主制作映画の一部を見せていただいた。生徒・保護者・職員ともに「日本の、そして世界の今後」について深く考えることができた。</p> <p>②11月4日(火)には芸術鑑賞として「学校寄席 人間国宝一龍斎貞水氏の立体怪談」を鑑賞した。落語寄席について分かりやすく解説していただけて、知識を深めることができた。立体怪談では罪深い「人間の業」や日本の伝統的な「話芸」の素晴らしさを見ている側に痛感させた。</p> <p>③1年生が6月に行ったSGH高山フィールドワークで制作したレポートを展示し、来校者に鑑賞していただいた。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p>人権講話を通して、生徒は自分が現在置かれている恵まれた環境とは乖離した「厳しい地域」が世界に、そしてこの日本にも存在するのだということを実感することができた。桑山氏の講演はこれで7年連続であるが、学年が進むにつれて、自分が置かれている立場に感謝し、周囲のことについてより深い知見が得られるようになっていく。</p> <p>芸術鑑賞では、全校生徒が一体となって寄席を創り上げていく体験をし、日本の伝統の「話芸」について深く考える契機となった。</p> <p>今年の「岐阜県ふるさと教育週間」でも、多くの保護者に来校していただき、本校の教育に対して良い評価をいただいたが、地域の方の来校がなく、残念な結果となった。期間中のみならず、普段からの繋がりをいかに発展させていくかが課題である。</p>		

